



『研修新聞』
は各病院HPから
も見る可以看
ます。過去の
新聞もあるよ！

目次

1. 研修シートの書き方
2. 研修報告 新研修！
・「入退院支援」・「看護倫理Ⅰ」・「人材育成Ⅰ」
3. 4病院リレー企画「現任教育員会」紹介
～新居浜病院・今治病院編～
4. 「看護職の生涯学習支援ガイドライン」日本看護協会ニュース
編集後記

1. 研修シートの書き方について

～学び・行動目標・行動計画について～

ポイント！



学びの3側面から考
えてみよう
知識・技術・態度

学びの3側面から考
えてみよう
研修冊子の目的・
目標をもう一度

研修の学び・気づき		
※自分の参加目的に照らし合わせて、自分に不足している知識・技術・態度についてどのように理解できたか、 学びたい内容が学べたか、今後、自分にとって必要な事柄は何かなどを記載する。 また、新しい発見や気づきを記載する。		
行動目標		
1. 研修目標、参加目的、学びの記録から自身が目指す知識・技術・態度を照らし合わせて、行動目標を設定する。 2. 指定期間内に実践できる内容とする。		
行動計画		
1. 其々の行動目標を達成するための具体的な行動計画を記載する。 2. 5W1Hで記載する。 3. 人材やパンフレットなど資源を活用することを意識する。		
評価予定日	最終提出日の1週間前を設定する	
所属長確認	確認日	確認者

5W1H
で具体的
に！

3側面

基礎知識・知識の応用：あたま 技術：からだ 態度：こころ

*目標は3つの種類に分類される（ブルーム アメリカの教育心理学者）

アイフィールドで皆様に配信された「研修シートの活用」をご覧くださいでしょうか？研修終了後シートを記入する際にもう一度ポイントを押さえておきましょう。研修案内の目的・目標に照らしわて、**学びを実践に活かす**ためには、何をどのように行動すればいいのか？自分の言葉で具体的に記入します。より具体的に記載すれば、おのずと最終評価もしやすくなります。立てた行動計画を年間をとおして支援を受けながら実践していきます。実践の積み重ねが、自信となりキャリアに繋がります。（合同研修冊子P2-8参照）《看護長へのシートの提出は早めをお願いします》



2. 研修報告

新! ラダーⅡトライ「入退院支援～その人らしい生活を支える看護～」



生活者としてとらえる

入院前の生活 現在 退院後の生活

- *どのような生活をしてたのか
- *入院により変化したこと
- *今後どのように生活したいと思っているか

- *家族介護者の意向
- *社会資源活用の可能性



生活史から本人らしさをとらえる

- ・生活史は、日常生活での価値観に基づく行動様式や死生観までを決定する因子になっている。
- ・長年にわたって築かれた価値観・個性・日常生活の行動様式、全てが立ち現われて、今ここに生きる「その人」になる。



ラダーⅢトライ 看護倫理 I

がん看護専門看護師：武田千津先生

看護倫理の思考と実践のプロセス ①「目の前で起こっていることに、もやもやを感じる」：立ち止まって考える事。②もやもやを言葉で表現する：思いを見つめ自分の言葉で表現する。③倫理的問題を分析する：看護師だけでなく他職種とともに分析と対応を考える。④倫理的問題に取り組む。：対応策について他職種を含めた医療チームで取り組む。

講義より

研修後アンケート「どんな看護師でありたいと思っていますか」

- ★看護とは、「患者・家族によりそうこと」「患者を、身体的、精神的、社会的な面から見ること」看護師は、「医師の指示で痛みなどを取るだけでなく、患者の一番近くで、思いや訴えを傾聴する人」「家族へのサポートを行える人」「患者がよりよい意思決定を行えるように支援する人」今回の研修に参加し、倫理について学べた。事例展開で挙げた患者は、意思決定が自身で行えない状態で、家族間の意思も相違しておりとても難しかった。患者の背景をより詳しく知ること、会話の中で日常生活について聴取し、その人の生活を理解できるような看護師になりたいと思った。これからも、自身で意思決定が行えない患者に当たることがあると思うが、今回学んだことを振り返り、患者・家族がよりよい意思決定が行えるよう支援していきたい
- ★倫理の勉強をして個々の患者・家族に向きあえていたのかと改めて感じました。他部署の事例で、患者の事を皆さんが一番最優先にしたいと感じてはいるがそれが行動としてはなかなかとれない場面もあり、日々ジレンマを感じながら看護をしているのが分かりました。看護って何→患者さんが療養しやすく退院後もその人らしく生活できるように支援する事。時には一番に考えコメディカルとカンファレンスをしたりスタッフにも協力してもらう事。どんな看護師、笑顔で貴方がいたら安心するとされる看護師に改めてなりたいと思います。



倫理原則とは、医療者が倫理的問題に直面した際、どのように考えるかの道しるべになるもの。





「看護現場で使える教育学の理論と技法」愛媛大学：中井俊樹先生



今年は受講生の皆様に、現場で後輩指導者や新人育成で困った場面を持参してもらうようにしました。研修最後に「振り返り」を行い、今日の学びから、その課題にどのように取り組めばいいのか？今後どうすれば良いかな？をテーマにディスカッションしました。自部署に活かすことができたでしょうか？

講義そのものに人材育成のノウハウが満載です！聴講もお待ちしています。

研修後アンケートより

- ★指導についての知識を深めることができ、また自身をふりかえることもできた。今後の課題も明確にすることができそうです
- ★今まで新人指導や転入者の指導で困っていた事の対応の糸口が見つかった気分です。実践に移すのは難しい面もあるけど頑張っていきたいと思った。グループのメンバーの悩みも同じような事で安心した。
- ★成人学習における動機づけの大切さや教育現場における評価には最終的な結果の評価だけではないことを理解できた。今回の研修で教育の場で色々活用していきたいと思ったが、自分の中でも少しずつ確実にできるようにスモールステップアップしていきたいと思う。



3.4病院リレー企画「現任教育委員会」の紹介

新居浜病院 現任教育委員会活動紹介

今年度の委員会目標は
「Off-JTからOJTに繋ぐ」



Ⅱ期研修の「注射」「ルート確保」を企画運営しました。感染や医療安全の視点から演習内容を検討し、事前に何度も打ち合わせを行い研修に臨みました。アンケートでは高評価の意見が多く、とても充実した研修ができました。

委員会で「教育三観」と「ファシリテーション」の学習会を行い、研修企画から運営、評価までの能力向上を目指しています。新人が楽しく興味をもって学べるように、講義や演習を工夫して行いました。新しく購入したシミュレーターも活用しています。

昨年度から新人の成長に合わせ、実践を意識した技術研修を行っています。シミュレーターを使用し、少人数で繰り返し行うなど、技術の獲得にも力を入れてきました。しかし、研修内容をOJTに繋ぐことが難しく技術習得の遅れが課題として残りました。そこで、現任教育委員会の今年度の目標を「Off-JTからOJTに繋ぐ」とし活動しています。

“つなぐ”ための工夫を紹介します！

工夫点1.「研修後のポイント配信」を行っています。各研修の中で特に重要なポイントを、知識・技術・態度の3側面から簡潔に資料に記載し、委員会担当者が研修後3日以内に配信しています。配信された資料は、実地指導者がOJTで活用しています。

工夫点2.「OJTシート」を導入しました。OJTシートは短期目標や技術習得するための計画を記載し実地指導者と共有するものです。社会人基礎力の育成も兼ねて、新人が主体的に計画できるように支援しています。

PDCAサイクルを新人教育に活かすことで、現任教育委員メンバーそれぞれの成長を目指しています。

新人看護師のためのOJTシート	
部署名	氏名
研修名	
研修日	年 月 日 ()
研修の事後課題	
【研修で学んだこと】	
【研修を受けて考えた自己の課題（研修で実施すること）】	
【課題への取り組み方法（いつ、どのように実施するか）】	
研修1か月以内：年 月 日	
（1か月以内に評価できない場合、新人教育担当者は現任担当者に報告する）	
【課題の達成状況と学び】	
実地指導者コメント	
提出日：年 月 日	
実地指導者サイン	
新人教育担当者サイン	
看護長サイン	



現任教育委員会
2023年 6月 作成

令和5年度 今治病院 現任教育委員会

委員会メンバー
紹介します！



『看護の本質を追求し、患者中心の良質な看護を提供できるスタッフの育成』を目指して、研修企画できるようにするぞ！



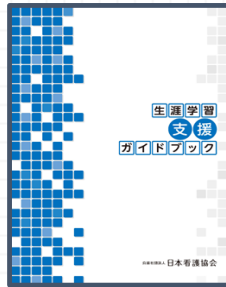
今年度は**教育三親**の学習をして、効果的な研修を目指します😊



新人看護職員の技術習得のため、委員が支援に力を入れています

4. すべての看護職の生涯学習の羅針盤

「看護職の生涯学習支援ガイドライン」公表 ～日本看護協会7月協会ニュースより～



基本的考え方

- ①生涯学習は、看護職個人が主体となっていく
- ②生涯学習は、生涯にわたり行う
- ③生涯学習は、学んだことを実践に活かし、実践から学ぶという循環によって行う
- ④生涯学習は、看護職個人の責務として行う
- ⑤生涯学習支援は、個人の主体性を尊重し行う
- ⑥生涯学習支援は、看護職を雇用している組織等の責務として行う
- ⑦生涯学習支援やキャリア形成支援を行う機関は、看護職個人と雇用している組織の双方を支援する

《ガイドライン作成の背景》

社会の様々な変化や多様化に対し、看護職はそれらのニーズに応えるための能力を身に付ける必要がある。また看護職の働き方や働く組織・領域が多様化し、就業年数が長くなるとともに、個人のキャリア形成に関する考え方や、組織の人材育成に関する考え方が変化している。看護職自身が活躍し続けるためには、自身のキャリアデザイン（職業生活設計）を行い、学びについては自分の責任で取り組むという自律性や主体性がより一層求められる。看護職の生涯学習の推進では、看護職を雇用している組織はもとより関係する機関も生涯学習支援について理解する必要性がある。このような背景から、看護職の生涯学習および生涯学習支援に関する考え方を示すため、新たにガイドラインを作成した。（7月号協会ニュースより抜粋）詳細は日本看護協会HPをご覧ください。

愛媛県立病院看護職員
研修新聞 第19巻第2号
2023年 9月発行
連絡先：愛媛県立中央病院
合同研修担当看護長 嶋屋順子
電話：089-947-1111（代表）

編集後記：

合同研修活動にご協力・ご参加に、感謝いたします。「地球沸騰化の時代に入った。」とも言われたこの夏の暑さは異常でした。涼しくなるのはまだ先で、10月くらいまで続くようです。皆様体調を崩さず、下半期の研修を乗り越えていきましょう。7月の協会ニュースで「看護職の生涯学習支援ガイドライン」が公表されましたので紹介をしています。看護職のこれからの学びとは？その支援とは？是非HPをご覧ください。

（嶋屋順子）